

令和4年度 第2回 JSSR 国際委員会審議事項

日時：令和4年6月6日（月）20:00-21:03

場所：Zoom

出席：(担当理事) 伊東学

(委員長) 酒井大輔

(委員) 北村和也, 名越慈人, 菅野晴夫, 高橋真治, 加藤壯, 高畑雅彦,
玉井孝司, 安藤圭, 重松英樹, 宮崎正志

(アドバイザー) 中村雅也, 松山幸弘, 波呂浩孝 (理事長)

欠席： 宮城正行(敬称略)

1. 新委員紹介
2. 第1回議事録の承認
3. 理事会報告, 検討依頼事項 (伊東理事)
4. 報告事項

1) World Health Summit/SPINE20 の活動報告 (玉井委員)

WHO 分科会の World Health Summit での Spine20 主催シンポジウムが
2022/6/16 に開催される予定.

5. 審議事項

1) JSSR 国際化推進に向けての活動説明

JSSR 国際化推進は学会としての最重要課題であり, これまでも各国対応学会についてランク付けを行い, 協力体制の強化, JSSR 学術集会での English Session, English Presentation Award の推進などに取り組んで来た. 過去3年間 COVID-19 の影響で国際活動が制限されてきたが, JSSR2023 に向けて対応学会との連携再開, ATF や KSS, TWSS フェローの再開, NASS と SAS の準備など各種活動の再開を模索していく.

2) JSSR2023(第52回大会種市会長)招聘演者(特にアジア)の推薦の取り纏めについて

種市会長より JSSR2022 へ来日できなかった招待演者を JSSR2023 へ招聘するご提案を受け, JSSR2022 中村会長より招聘演者に関してその選定背景をご説明いただいた. JSSR2023 への招聘演者に関しては JSSR とアライアンスを結ぶ, KSS, TWSS の理事長招待のほか, ATF など JSSR の国際活動でお世話になっている, 各国代表陣の中から, 当委員会で検討し, 返答する.

尚、波呂理事長より KSSS の場合、単年度で理事長が交代するので、招聘時には注意を要する旨が伝えられた。

3) JSSR ATF(アジアトラベリングフェロー)再開について

国際委員会からコロナで行けなくなった fellow に連絡を取り、それぞれの都合と訪問先の状況を確認し、再開の時期を調整する。

また、本年度秋に次年度の公募を再開する予定であり、3年間休止したことから、年齢制限を3才下げることなどの調整を行う。

4) Spine Week 2023 Melbourne に向けて

5月3日 15:30 から 16:30 までの JSSR 枠がある。高橋委員を中心に、プログラム内容などを検討する。前回中止となったプログラムを参考に、新しいプログラムとする。

5) NASS International との連携について

NASS 側と交渉を行っている。2023 年の Spine Across the Sea の開催内容などについて、JSSR の要望などを NASS に伝え、連携内容の調整を行っている。

今後の委員会日程については2ヶ月に1回程度の頻度でオンライン開催の予定。

以上